



# 札私幼

《編集》  
札私幼広報委員会

《発行責任者》  
一般社団法人  
札幌市私立幼稚園連合会  
敷 淳 一

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10  
札幌市生涯学習総合センター内  
☎ 671-3590 FAX 671-3591

第 168号

令和3年  
3月24日  
発行

## 令和2年度 設置者・園長研修会

3月1日(月)午後2時30分から、ホテル札幌ガーデンパレスにて令和2年度の設置者・園長研修会が開かれました。太田副会長の進行により、札私幼 敷会長から挨拶を頂き、札幌市子ども未来局の保育推進担当 草野晶裕課長から、札幌市の令和3年度予算案等について、市の一時預かり事業実施園を対象に、幼稚園教諭の人材募集支援が加わることや、事務負担軽減に係るモデル事業について、モデル園拡大を予定していることなどをご説明頂きました。



その後、オンラインで接続した文部科学省初等中等教育局幼児教育課 中村有希専門官を講師に迎え、「幼児教育の現在と未来」と題して、国の予算案や公定価格見直し等について、文科省の各担当者の方も交えて2時間弱お話し頂きました。

第1部では、新型コロナウイルス感染症対応と来年度予算案、今年度補正予算についてをテーマとし、マスクの着用は園児の状況に応じて行うこと、謝恩会及びこれに類するものについては飲食を伴わない開催を検討するよう働きかけること等や、各種補助金についてお話しされました。

第2部では、公定価格をテーマとし、施設関係者評価加算について、公開保育をオンラインで実施する場

合も対象になること、処遇改善加算の研修要件については、調査を踏まえて令和4年度までに固めていくこと、園内研修も研修要件時間に含まれるようになる際の必要要件や書式についての確認、公定価格について人事院勧告に伴う減額分より賃金の下げ幅が上回らないように留意すること等についてお話を頂きました。

第3部では、これからの幼児教育をテーマとし、幼稚園預かり保育の充実を活かして保育の受け皿の準備をすることや質の高い幼児教育を受けさせたいという保護者のニーズは高いことについてお話がありました。

また、札幌市では出生数が減少し続けており、育児休業をしやすい社会が望まれること、預かり保育について、人・スペース確保の問題があること、幼稚園と保育所等とは国の設置基準等に差があり是正を求めたいこと等を専門官と共有し、本研修会は国と札私幼会員双方の情報共有の場となりました。



## 令和2年度 札私幼 永年勤続者表彰式・臨時総会

設置者・園長研修会に続き、午後4時30分から、丸谷副会長の進行により、永年勤続者表彰式・臨時総会が行われました。

前札私幼会長 前田元照先生からの退任のご挨拶を頂き、新札私幼会長 敷淳一先生から開会の言葉に併せ、就任の挨拶も兼ねて新執行部で取り組みたい5つのこと(①新型コロナ対策 ②研修体制の再構築 ③園運営 ④人材確保 ⑤札幌の幼児教育・保育のあり方を考える)のお話がありました。



続いて、永年勤続者74名の皆さんの表彰が行われました。(受賞者については次ページにてご紹介しております。)受賞者を代表して、勤続30年表彰を受けられた札幌大谷大学附属幼稚園の安井美恵子園長から挨拶があり、ご来賓、ご参会の皆様から、祝福の拍手が盛大に送られました。

来賓の札私幼 PTA 連合会会長 加賀谷由峰様からご祝辞を頂き、中村副会長から祝電の紹介の後、ご来賓の札幌市私立幼稚園振興議員連盟 長内直也様、佐々

木みつこ様、こじまゆみ様、北村光一郎様、村山拓司様、三神英彦様のご紹介がありました。

古川振興委員長より定足数の確認が行われ、本総会は成立しているとの報告がありました(155園中の117園が出席)。続いて議長に琴似教会幼稚園園長 杉本悦子先生を選出、議事録署名人に東区さっぽろ夢温泉園長先生、厚別区認定こども園新さっぽろ幼稚園・保育園 吉田園長先生が指名され議事に入りました。

議案第1号 令和3年度事業計画(案)について各委員会(総務・振興・研究・広報・認定こども園)の委員長より説明があり、原案どおり承認されました。議案第2号 令和3年度収支予算(案)については坂本事務局長から政令協議会札幌大会経費などを含め増減のある科目等について経過説明があり原案どおり承認されました。議案第3号 理事選任については坂本事務局長から、理事の退任に伴い白石区東橋いちい認定こども園 押野里美園長先生を後任理事とし任期は前任理事の残任期間までとする旨説明があり、原案通り承認されました。その他はとくになく、議長がすべての議案が審議終了したことを告げて退任しました。

総会の結びとして、中村副会長より、新型コロナによる制約の中で実施できたことについて会員の皆様の協力について感謝を述べ、令和2年度臨時総会は滞りなく終わりました。

# 令和2年度・永年勤続表彰者

## ●勤続30年

### 勤続30年の表彰を受けて

札幌大谷大学附属幼稚園  
園長 安井 美恵子

この度、勤続30年の表彰をして頂きまして、誠にありがとうございました。

私は、札幌大谷学園札幌大谷短期大学保育科（現：札幌大谷大学短期大学部保育科）を卒業し、札幌大谷短期大学附属幼稚園に6年間勤務したのち、結婚、出産、子育てを行い15年間主婦業に専念致しました。

その後、40代前半から11年間、高陽学園百合が原幼稚園の管理職として勤めさせて頂きました。50代前半に、札幌大谷学園に戻り、札幌大谷大学附属幼稚園、園長として勤務し現在に至っております。

私の若い頃は、幼稚園教諭は、女性のなりた職業の上位で、保育科の人気は高かったです。短期大学の面接試験では「自分は子どもが好きで、幼稚園の先生の仕事に長く携わりたい。」と、胸いっぱいになりながら答えたことを今でも覚えております。30年もの長い間勤めさせて頂いたことを、あの頃の自分に知らせたい気持ちです。

短期大学卒業から45年が経過し、少子化が進み、幼

児を取り巻く環境は変化し、国の制度も変わりました。様々な変化に対応出来ていないことも多く、右往左往しておりますが、毎日元気に登園してくれる子どもたちと多くの皆様方のお力を借りて園長職に就かせて頂いております。幼稚園教諭として、こんなに長くお仕事をさせて頂き、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

### 勤続30年表彰者 4名 ※園番号順記載

- ・村田 希 ばんけい幼稚園
- ・安井 美恵子 札幌大谷大学附属幼稚園
- ・佐々木 真司 幼保連携型認定こども園さつなえのもり
- ・小笠原 美紀 さわらび幼稚園



## ●勤続20年

### 永年勤続表彰（勤続20年表彰）受賞にあたって

札幌あかしや幼稚園  
副園長 清水 貴子

この度、永年勤続表彰（勤続20年表彰）を受ける機会に恵まれ、感謝の気持ちで一杯です。

子どもの頃に素晴らしい幼稚園の先生と出会い、小さい頃から「幼稚園の先生になりたい！」という気持ちが心の中で育っていました。夢が叶って幼稚園教諭になってからは、優しい恩師や温かい先生や仲間のおかげで、可愛い子ども達、素敵な保護者と過ごすことが出来、幸せに思っております。今では担任をした卒園児も立派に成長して幼稚園と一緒に働くようになり、二重の喜びを感じております。

短大を卒業してから、もっと深く幼児教育について学びたいと思い大学、大学院に進学をいたしました。現在は大学の先生の勧めもあり、又、自分の教養、学力等を高める目的で、学生の講義も担当させて頂き、悪戦苦闘をしつつ努力をしております。

幼児教育は、1人では出来ないのので、仲間や他の先生達と話し合い、協力しながら、子ども達にとってより良い教育が出来るよう、これからも研鑽を重ねて参りたいと思います。

今後ともいっそうのご指導、ご支援、ご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 勤続20年表彰者 14名 ※園番号順記載

- ・原田 智世美 認定こども園札幌大谷幼稚園
- ・関戸 由香 認定こども園はなぞの
- ・荒 めぐみ 認定こども園はなぞの
- ・杉山 留美子 認定こども園あいの里
- ・若杉 真実子 あいの里大藤幼稚園
- ・鈴木 真由子 あいの里大藤幼稚園
- ・清水 貴子 札幌あかしや幼稚園
- ・布川 真希 認定こども園新さっぽろ幼稚園・保育園
- ・西 友子 認定こども園なかのしま幼稚園
- ・榎田 真理子 認定こども園なかのしま幼稚園
- ・岸 奈美江 認定こども園ひらぎし幼稚園
- ・土屋 由夏 札幌白ゆり幼稚園
- ・宮本 香織 札幌白ゆり幼稚園
- ・荒井 恵美 インターナショナル山の手幼稚園



## ◎勤続10年

### 勤続10年の表彰にあたり

札幌ルーテル幼稚園

長内 大智

この度、永年勤続表彰を頂けたことを光栄に思います。私自身10年間、幼児教育に携わることは、保育者として、また社会人として働き始めた頃には、まったく想像できませんでした。振り返ってみますと、この10年は失敗、反省の積み重ねの連続でした。それは日々の保育で関わる子ども達や、保護者、様々な方々との関係においての向き合い方から感じています。しかし、今こうして私が保育者として立ってられるのは、そのような私が保育者として立っていけるよう育てて下さった職場の先生方、ならびに関わって頂いた多くの方々が存在があったからだと思えます。このような機会を与えられましたが、自分自身が自らの能力や、経験を積み重ねたから今があるとは思いません。この場をお借りして、周りの方々への感謝の思いを述べさせていただきます。ありがとうございます。

これからも幼児教育に携わっていきと思います。傲慢にならず、謙虚であることを第一にしながら、私が多くの方々に与えられたことを、今後は還元していきけるような働き方に取り組んでいきたいです。

### 勤続10年表彰者 56名 ※園番号順記載

- ・入山 美穂 さゆり幼稚園
- ・高田 さおり 認定こども園カトリック聖園こどもの家
- ・佐藤 孝洋 札幌ルーテル幼稚園
- ・長内 大智 札幌ルーテル幼稚園
- ・鎌瀬 克枝 麻生明星幼稚園
- ・水上 珠実 麻生明星幼稚園
- ・高畠 敦子 麻生明星幼稚園
- ・三浦 正克 麻生明星幼稚園
- ・立藏 有香 認定こども園札幌北幼稚園
- ・諏訪 以久子 認定こども園札幌北幼稚園
- ・上口 真里亜 認定こども園札幌北幼稚園



- ・遠山 朋子 Cinq Perles 幼稚園
- ・野澤 久美子 Cinq Perles 幼稚園
- ・青山 雄介 Cinq Perles 幼稚園
- ・安中 里紗 百合が原幼稚園
- ・鈴木 菜奈 百合が原幼稚園
- ・宮宅 杏奈 百合が原幼稚園
- ・戸塚 愛子 認定こども園あいの里
- ・泉谷 明美 茨戸メリー幼稚園
- ・小林 篤 茨戸メリー幼稚園
- ・石田 理絵 札幌大谷大学附属幼稚園
- ・宮前 ゆりえ 幼保連携型認定こども園さつなえのもり
- ・三浦 佳子 幼保連携型認定こども園もえれのもり
- ・大磯 めぐみ 本郷幼稚園
- ・安東 七重 札幌白樺幼稚園
- ・政田 美沙 札幌白樺幼稚園
- ・竹原 和広 札幌白樺幼稚園
- ・長谷川 美結 北都幼稚園
- ・辻 美幸 幼保連携型認定こども園ひばりが丘明星幼稚園
- ・酒井 琴美 もみじ台幼稚園
- ・入澤 真紀 認定こども園新さっぽろ幼稚園・保育園
- ・高松 瑞恵 認定こども園新さっぽろ幼稚園・保育園
- ・久保 愛歌 認定こども園なかのしま幼稚園
- ・松原 友美 札幌若葉幼稚園
- ・藤田 静枝 札幌若葉幼稚園
- ・雨山 朋未 札幌ゆたか幼稚園
- ・児玉 美里 黎明幼稚園
- ・西澤 有加 黎明幼稚園
- ・渡邊 いずみ 黎明幼稚園
- ・吉田 幸子 にれ第2こども園
- ・塚本 むつみ にれ第2こども園
- ・米田 巴江 札幌国際大学付属幼稚園
- ・古川 康花 認定こども園北野しらかば幼稚園・保育園
- ・山田 隆司 澄川幼稚園
- ・齊藤 暁子 光塩学園女子短期大学附属認定こども園
- ・大村 有紀 平和幼稚園
- ・京堂 美沙希 平和幼稚園
- ・田中 絵梨香 さわらび幼稚園
- ・河野 聖子 さわらび幼稚園
- ・徳田 純彌 さわらび幼稚園
- ・佐藤 弘美 いなほガーデン星の子幼稚園
- ・氏家 香織 いなほガーデン星の子幼稚園
- ・戸澤 沙知 認定こども園ほしおきガーデン星の子幼稚園
- ・高谷 枝里 富岡つくし幼稚園
- ・本吉 千里 幼保連携型認定こども園まつばの杜
- ・鈴木 広美 幼保連携型認定こども園まつばの杜

## 令和2年度・幼稚園教諭養成校／札幌市私立幼稚園連合会 懇談会

毎年行っております、養成校（札幌市内・近郊）と札幌私幼の懇談会を令和2年12月8日（火）にホテル札幌ガーデンパレスで行いました。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から養成校からは各校1名そして札幌私幼からは総務委員のみが出席し（例年は各区の理事の先生も参加）規模を縮小して会場内もソーシャルディスタンスを保つ形で開催致しました。

懇談会の冒頭に札幌私幼 藪淳一会長の挨拶そして札幌国際大学短期大学部 平野良明学長からもご挨拶をいただき、米永広報委員長から札幌私幼就職フェアの報告がありました。

1グループ4～5名の少人数に絞り、教育実習と就職について話し合いを行いました。

今年度も下記の内容で意見交換をしました。それぞれの詳細については各区の理事の先生に別紙として詳しく記載した物を配布し、園長会等でお知らせをお願いしておりますので目を通していただいていると思いますが、コロナ禍でオンライン授業が中心で対面で人と触れ合う機会も少ないまま実習や卒業を迎えることに対する理解を持ちながら受け入れや育成をして欲しいこともお伝えしておきます。

### 懇談テーマ1. 教育実習について

- ①実習園の選び方について
- ②指導案や実習日誌について
- ③実習前オリエンテーションについて

### 懇談テーマ2. 就職について

- ①採用試験を受ける際の選定について
- ②採用結果の通知について

### 参加養成校一覧

- 藤女子大学
- 札幌国際大学
- 札幌大谷大学短期大学部
- 光塩学園女子短期大学
- 札幌国際大学短期大学部
- 北翔大学短期大学部
- 札幌大学女子短期大学部
- 経専北海道保育専門学校
- 専門学校北海道福祉・保育大学校
- 札幌こども専門学校
- 札幌スポーツ & メディカル専門学校



## 令和2年度 復職・就職支援セミナー

2月19日（金）に「復職・就職支援セミナー」が開催されました。「復職・就職支援セミナー」は、札幌私幼として今年度から新たに始めた新規事業で、喫緊の課題となっている幼稚園教諭・保育教諭不足の解消にむけて、資格を持ちながら保育現場から離れている方の復職や就職を支援することを目的としたセミナーです。

セミナーの開催案内については、加盟園を通じて加盟園保護者の皆様に配布させていただいたほか、札幌市子ども未来局様のご協力を得て、ハローワーク等、札幌市内の公的機関にも設置させて頂き、幅広く周知を行うことができました。その結果、今回は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン（YouTubeでのライブ配信）での開催となりましたが、61名の参加申し込みを頂くことができました。



セミナーでは、加盟園保護者の皆様に実施させて頂いた事前アンケートで、「セミナーで知りたい情報」として挙がって

いた、①今の幼児教育で大切にしていること、②幼稚園教諭免許状の更新方法、③復職・就職者の様々な働き方、④復職・就職者向けの求人情報について、丸谷副会長及び振興プロジェクト委員からお話をさせて頂きました。



今後も札幌私幼加盟園の皆様からのご意見やセミナー参加者からのアンケートをもとに、復職・就職支援セミナーの実施方法を検討し、幼稚園・認定こども園業界の人材不足の解消については札幌市の幼児教育の質向上に寄与できるよう努めて参りたいと思います。

最後となりますが、復職・就職支援セミナーは、振興委員会のプロジェクト委員を中心として進めてきた事業ではございますが、藪会長をはじめ、札幌私幼役員及び各委員会の委員の先生方に多大なるご協力を頂きました。また、開催案内の配布や既卒者向け求人情報のご提供等、札幌私幼加盟園の皆様にもご協力を頂き、誠にありがとうございました。

（振興委員長・古川 多三和）

## 令和2年度 リーダー“力”スキルアップ講座

令和2年度 リーダー“力”スキルアップ講座が令和3年2月5日（金）に札幌エルプラザ3階ホールにて行われました。和洋女子大学 矢藤誠慈郎先生を講師にお迎えし、「保育の質を高める組織マネジメント～同僚性を育む～」という演題で、リモートでのご講演を頂きました。



組織を良くしていく事は保育の質を高める事に繋がります。人間関係がとても大切です。どのように組織を作り上げていくのかはリーダーに委ねられています。今回は保育の質を高められるような『人間関係＝“同僚性”』に着目し、お話を頂きました。

保育の質向上を図っていくためには、職場における研修が重要です。又、職員同士が日常的・主体的に学び合う姿勢と環境が良い人間関係を育みます。そして、組織の皆で葛藤したり、問題を解決しながら進化していくことが理想的であるということでした。矢藤先生は園内研修を行うにあたっての気を付けるべき点や、ルール、展開の仕方についてもお話し下さいました。

ポジティブな面に目を向ける、指針・要領をガイドとして使用する、研修の負荷を少なくする等、様々なポイントを押さえる事の重要性や園内研修の展開例も挙げて頂き、より深い学びとなりました。

一方、同僚性を高める組織作りとして、皆で知恵を出し合う・ポジティブな面に目を向ける・モチベーションを高める・チェックリストを活用する等のポイントが挙げられました。

今回の研修を通して、同僚性と保育の質向上は繋がっている事、そしてそれらを高めていく手段に園内研修が一つの手段であるという事が分かりました。又、リーダーとして正しい進め方、同僚との関わり方について深めるとともに、人間関係の振り返りと今後の研修に向けての課題が生まれとても貴重な学びとなりました。



## 認定こども園・園長研修会

令和3年2月15日（月）15:00～札幌ガーデンパレス2Fにおいて、今年度初の認定こども園園長研修会を行いました。次年度は札私幼加盟園の約半数近くが認定こども園に移行していく現実を考えると、藪会長曰く、「認定こども園の悩み＝札私幼の悩み」といっても過言ではないという状況になってきます。

今回の研修会は公定価格などお金の部分ではなく、子ども達の日々の保育や教職員配置・仕事の分担など、認定こども園を運営するうえで、保育の現場がどのような問題や悩みを抱えているのかに特化し、それらをどのように解決しているのか、あるいは解決できないながらもどのように運営をしているのか、といった内容でパネルディスカッションとグループ討議を行い、情報交換や情報収集の場となるような研修会となりました。

第1部のパネルディスカッションでは、幼保連携型認定こども園おかだまのもり園長の伊藤あゆみ先生、ていねあすなろ認定こども園園長の山本大輔先生、幼保連携型認定こども園ひばりが丘明星幼稚園主任の岩本揚子先生の3名がパネラーとなり、

- ・乳児と幼児が生活を共にする工夫
- ・教育時間後について（預かり保育）、1,2,3号での違いなど
- ・0～2歳担当教諭と3～5歳担当教諭の勤務体制

について

- ・仕事の効率化、分業化、外部委託化、IT活用
- ・1号保護者と2,3号保護者の意識の違いやそれに対する配慮

といった内容の話題にお答え頂きました。

第2部は、各テーブル4～5名でソーシャルディスタンスを取りながらのグループディスカッションを行い、第1部で出た話題などを中心に情報交換を行いました。各グループとも時間が足りなくなるほど話が盛り上がり、皆さんの保育や認定こども園の運営に対する熱い思いをたくさん感じる時間となりました。

何かひとつでも、自園の問題解決に繋がるヒントを得られたのであれば幸いです。

最後に札幌市子ども未来局の草野晶裕課長より、このように現場でご苦労されている教職員の皆様のお役に少しでも立てるよう、今後もお力添えさせて頂きますと温かいお言葉を頂きました。

（報告 認定こども園委員会副委員長 宿谷 英樹）



## 令和2年度「札幌幼児教育セミナー」

9月に行われました第1回目に引き続き、2回目は予定していた11月30日が感染症拡大防止の観点から延期になり、この度令和3年2月26



日(金)に、札幌エルプラザ3階ホールにて開催されました。2回目の今回は、都道府県によっては緊急事態宣言下という事もあり、講師の大阪教育大学 准教授 中橋美穂先生は会場と「zoom」でつないでのオンライン参加、武蔵野大学教育学部 准教授 箕輪潤子先生は会場にお越しいただいたの参加という形で『園内研修を活用した保育の質の向上に向けた取り組みについて～その2 園内研修をやってみよう～』というタイトルで講演をしていただきました。

ビデオ記録を使った参加型研修という形で、札幌市内のある幼稚園の砂場での遊びの動画を視聴し、「子ども」「環境」「保育者」についての気づきをそれぞれ違う色の付箋に記入することで、参加者全員がまずは「意識をして見る」ことを実践しました。動画視聴を行った後、舞台上で1回目はなかのしま幼稚園・2回目はすみかわ幼稚園の先生方が箕輪先生をファシリテーターに園内研修を実践してくださいました。実践して気付いたこととして、「同じ映像を見てもひとりひとり感じる事が違う、自分の見えていないことに気付けた」「思いの共有が出来る」「自分たちの園だったらどう出来る？」という事が先生方から上がりました。

中橋先生は、正解の無いことを年齢の違う・担当学年の違う先生たちが話し合う事は、違う見え方から学ぶという点で大きなメリットがあるとおっしゃっていました。園内研修を実施するにあたっての大きな課題の一つとしてその時間をどうやって作るかがあります。①子どもの姿②ねらい③手立て④その他…テーマを決めてそれについてグループごとに話し合っても良いのではないかとのお話もありました。又、箕輪先生は、保育観・子ども観・今日の保育についてを話し合う事も良いのではないかと今自分たちが何を大事に保育したいのか、自分の園の課題は何かをみんなで話すと良いのではないのでしょうか。園内研修をするにあたり、楽しく話し合いを行う事ももちろん大切です、それに加えてその話し合いが子どもの育ちにつながるという結果を産むことこそ意味のある研修となるとお話がありました。

付箋を活用しての園内研修は、近年多くの園で実施されているのではないかと思います。年に数回の構えた園内研修ではなく、だれもが話しやすい雰囲気を作ることで、その結果保育の質の向上につなげるためにも、短時間でも、身近な課題を頻繁に話し合える環境づくりが大切なのではないかと感じました。



## 令和3年度・札幌市予算(私立幼稚園関係)～特別支援教育事業費補助金・基準額拡充～

昨年11月26日(木)に札幌市へ予算要望した以降も札私幼執行部は、コロナ禍で札幌市の財源が厳しい状況ではありますが札幌市の子ども達の為に、子ども未来局と予算折衝を行ってまいりました。その結果、令和3年度札幌市予算案が発表されました。今回も【特別支援教育事業費補助】に関して拡充がありました。

### ※特別支援教育事業費補助金(一園当たりの基準額)

令和2年度 → 976,950円

令和3年度予算案 → 1,008,150円

(31,200円の単価アップ)

時給 865,800円=1,110円/時×4時間×5日/週×39週

交通費 142,350円=730円/日×5日/週×39週

合計 1,008,150円

### ※新基準(令和3年度予定)

要支援児数	教諭数	補助単価
1～4人	1人	1,008,150円
5～8人	2人	2,016,300円
9～12人	3人	3,024,450円
13～16人	4人	4,032,600円
17人以上	5人	5,040,750円

※令和3年度予算案につきましては、この度開催されている市議会の審議の結果議決される見込みです。この度の予算要望、予算折衝に関しましては会員園の皆様からいただいたご支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

## 札私幼スイーツ王子のおすすめスイーツ

### 第2回「気分を高める和菓子」

春の足音が少しずつ近づいて来ました！ まだまだコロナと向き合う生活が続きますが気持ちだけは常に明るくいたいものです。春の日差しの中でさらに気分を高める・・・そんなスイーツを今回も王子が紹介してくれました！皆さんも甘味の渦に巻かれてみませんか？

#### おはな

中央区南4条西5丁目1

#### 王子の一言

レストランプラザ1階（東急REI）

- ① 新感覚の【おはぎ専門店】定番の【こしあん】【つぶあん】の他にも多種多様なおはぎが10種類以上！その品揃えは他では見られないものばかりです。
- ② きなこ・青えんどう・さつまいも・いちご・ミルク珈琲など・・・こぶりで食べやすいので様々な味を楽しめます。
- ③ 花に見立てた【紫苑フラワー】と言う目でも楽しめる【おはぎ】もあります。
- ④ 2号店として、レストランプラザに1月21日にOPEN。  
本店は【中央区南15条西9丁目1-6 エバーヒルマンション1階】地域によってはwoltでデリバリーも可能です。



#### ぽたぽたいちご

中央区北7条西5丁目8-5

#### 王子の一言

テータビル1階

- ① いちご大福の専門店
- ② ご覧の通り【いちご】が主役の【いちご大福】いちごも大福も食べ応え抜群！
- ③ いちご大福の他に【豆大福】【いちご桜餅】季節限定の【いちごおはぎ】などもあります。
- ④ 中央区南1条西12丁目322に電車通り店もあります！





# 連 台 会 日 誌

札幌市私立幼稚園連合会の主な動き  
(予定を含む)

## 令和3年

- 1月13日(水) 初任者段階における研修「理論・実践研修2」【オンライン配信】
- 1月14日(木) 初任者段階における研修「理論・実践研修2」【オンライン配信】
- 1月15日(金) 初任者段階における研修「理論・実践研修3-2(2年次)」【オンライン配信】
- 1月18日(月) 永年勤続表彰、新年交礼会【中止】
- 1月20日(水) 総務委員会、理事会
- 1月22日(金) 認定こども園委員会
- 1月27日(水) 広報委員会
- 2月2日(火) 振興委員会プロジェクト会議
- 2月5日(金) リーダー“カ”スキルアップ講座(エルプラザホール)
- 2月8日(月) 研究委員会プロジェクト会議
- 2月10日(水) 認定こども園委員会
- 2月15日(月) 認定こども園園長研修会(札幌ガーデンパレス)
- 2月19日(金) 復職・就職支援オンラインセミナー
- 2月26日(金) 札幌幼児教育セミナー(エルプラザホール)
- 3月1日(月) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、臨時総会(札幌ガーデンパレス)

- 3月4日(木) 広報委員会
- 3月8日(月) 振興委員会
- 3月26日(金) 研究委員会

## 【令和3年度の主な予定】

- 4月21日(水) 総務委員会・理事会
- 4月23日(金) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会運営委員会(京王プラザホテル札幌)
- 5月21日(金) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、定時総会(札幌ガーデンパレス)
- 7月8日(木) 政令指定都市私立幼稚園団体協議会～9日(金) 札幌大会(京王プラザホテル札幌)
- 9月20日(月・祝) 就職フェア(札幌ガーデンパレス)
- 9月25日(土) 教育研究大会 全体会(札幌市民ホール)
- 12月14日(火) 総務委員会、理事会、養成校懇談会(札幌ガーデンパレス)
- 1月17日(月) 永年勤続表彰、新年交礼会(札幌ガーデンパレス)
- 2月28日(月) 総務委員会、理事会、設置者・園長研修会、臨時総会(札幌ガーデンパレス)



緊急事態宣言が発令され、園から子ども達の声が聞こえなくなった2020年の春。

その時私は、中学生の時に読んだレイチェル・カーソンの「沈黙の春」の一文を思い出しました。春が来ても、鳥たちは姿を消し、鳴き声も聞こえない。春だというのに自然は沈黙している…感染症のパンデミックを乗り越えて、子ども達の明るい声が響く園の環境を取り戻したいと思いました。

そんな中、新しい出会いがありました。個々の魅力溢れる「チーム広報」の皆さんです。いつも、

たくさんのパワーをいただき、学ばせていただきました。委員会では、マスクをしながらも、いつも明るい笑い声が響きました。

試行錯誤しながらの生活の中ではありますが、各園にも子ども達の明るい声が、天高く響くようになり嬉しい限りです。

新型コロナウイルスの登場は、いろいろなことに気づき、感謝し、考えるきっかけになったように思います。世界中が手と手を取って力を合わせれば、未来は明るい。どうか、子ども達の明るい声が響く未来が続いていきますように。

(広報委員・池口 裕子)